

JIA NAGANO-KEN CLUB

Vol.90
2011
07.20

JIA長野県クラブ

(社)日本建築家協会関東甲信越支部長野地域会

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/jia-naga@jeans.ocn.ne.jp>

災害から学ぶ

東日本大震災並びに長野県北部地震で被災された数多くの方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、その復興支援に携わる多くの方々に深い敬意を表します。

現地に立ってみると、辺り一面住宅の基礎が残っているだけでは何もないなどという光景に、ただただ呆然とするばかりで、かつて此処に集落があったとは…との思いでした。

地震による被害は、それなりにメカニズムが推定できますが、津波という、想定を遙かに超えた被災状況は、どう表現して良いかさえ定かではありません。信州という山国に住む私達には特にその思いが強いと思います。しかしこれを単に「想定外」として片づけてしまえるものかという疑問が湧きます。専門家として謙虚に災害の可能性を排除する勉強や努力を怠ってはいなかつたかと自分自身に問いかけました。そんな中で、歴史から学び、先人の声に耳を傾けて被害を最小限に押さえることができた岩手県普代村の防災努力は今後も語り継がれるべき叡智であると思います。

一方、安全神話が崩壊してしまった原発は、未だに決着点が見えずに、安全安心な国土という生活者にとって最も基本的な要件が欠落したまま4ヵ月になろうとしています。

国内外からの観光客の激減は、長野県の観光施策にも大きな影を落としており、一日も早い実質的終息の実現と同時に、「パラダイムシフト」の代名詞になった自然エネルギー利用の小規模発電施設の促進も望まれるところです。



2011年度通常総会



泉幸甫氏講演会



会員の集い

JIA長野県クラブ会長 赤羽吉人

皮肉にも此処にいたって電力会社による原発推進の原動力であった低炭素化社会の実現とそれによる地球温暖化阻止に疑問符が灯されていることは大変興味深いといえます。

地球の持つエネルギーと包容力は、人類の経済活動くらいではびくともしないはずとの信念はずっと持ち続けてきましたが、地球温暖化に異論を唱える科学者の声が異端者扱いされずに少しずつ報道されるようになったことは大変喜ばしい。

いずれ歴史が真実を明かした時、私達は過去の人間となっているかもしれません、その時代を生きた人間が謙虚にものを考えていくことだけは担保しておきたいものです。

さて復興計画の展望に話を戻しますが、多岐にわたる被害特性に加え、地域ごとに固有の課題を抱えている今回の復興にあたっては、人々の安心・安全のよりどころである建築やコミュニティの力を活用し、地元の人々の要望に耳を傾けながら、それらを方向づけ空間化し、雇用の場も含めた持続可能な生活環境を再生することで、地域社会と地域文化を継承発展させていく総合的な施策が求められています。

今後構築される復興支援の枠組は、地元住民の声を反映し住民が中心となって組み立てるものでなければならないと思います。建築家は、住民が自分たちで復興するという決意を固めるための後押しに徹することです。それができて初めて「まちづくり」の第1歩を踏み出すことができるでしょう。

2011年度通常総会が開かれました

4月22日、長野市「THE SAIHOKUKAN HOTEL」において、JIA長野県クラブの2011年度通常総会が行われ、2010年度の事業報告・決算報告の承認に続き、2011年度の事業計画・予算の議案が提案されました。2011年度の活動方針として 1.東日本大震災並びに長野県北部地震の災害復興支援活動を推進。2.クラブ事業内容の再検証と賛助会員を含む会員間の交流促進。

3.地域と連携するJIA活動の「外向き度」強化による社会認知度の向上。4.会員の資質向上と業務環境の改善を通じて職能の確立を目指す。5.地域会相互並びに支部・本部との積極的交流をはかる。6.UIA東京大会に向けての協力体制・参加登録促進・雰囲気の盛り上げ。の6項目を掲げ予算とともに承認されました。

総会に続いて、建築家 泉幸甫氏の講演会が開かれました。

泉幸甫氏講演「建築の設計って何?」

泉幸甫氏は28歳で建築設計をはじめたそうだ。大学では建築ではなくいわゆる造形作家として活動されていたらしい。遅れてきた建築家として設計をはじめた泉氏が、そのとき感じたことは「建築設計はモノとの距離が遠い」ということだった。

泉氏の設計活動はその後、モノとの距離を埋める作業に費やされてきたようだ。仕事をはじめてまもなく関わったクリストファー・アレグザンダーの盈進学園。そこでは自然の池を造るという作業を通じて、もの成り立ちから考える方法を学んだという。

その後の泉氏の作品も単に材料だけではなく、そのプランニングやデザインにも手の痕跡や、人の息づかいの感じられるものだ。

「カタログとの付き合い方が建築家のあり方を規定する」と泉氏は言う。

「企業の論理と消費者の勝手な欲望の間から自立する必要がある。多くの建物がカタログからの組み合わせで出来上がっていく現状に建築家は危機感を持たなければいけない。」「建築家は素材と格闘する必要がある」。泉氏は建物の設計活動だけでなく、「家造りの会」では仲間で素材の研究をし、学校も開校している。ま

毅

廣瀬

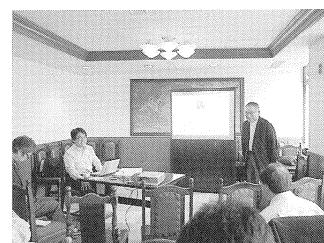
会員の集い報告

今回の会員の集いは、(有)みすゞ設計の松下重雄さんから話を聞く機会となりました。松下さんは飯田地域で「ギフ蝶の先生?」と言われるほど地域にドッかっと腰を据え設計活動を行っている。知る人ぞ知る地域密着の建築家。昨年は地域の役員を受けて区長という重責をはたされたと伺いました。区長さんと言えば地域の最高相談役、地域の子供たちの交流やお年寄りの相談事で日々奔走しなければならない。地域の方は適任者を選出しましたね。私は思っています。少し建築家の職能と似ているところが有りますね。

会は松下さんが飯田市で設計活動をするまでの生い立ちから下済み時代の苦労話、何故、地方の建築家になった訳などを伺いました。そして「地方の建築家は地域社会にどの様に関わりを持って貢献する事を常に考えなければならないか。」という教え。また「建築は創造する事、しかしそれはある意味自然を破壊している。この事を意識して設計活動をしなければならない。」と常に言われる。私達まだ地方の建築家としては「鼻たれ小僧」しっかりと肝に銘じて日々の設計をしなければならない。

幸弘

いと襟を正された気がします。そして様々な作品のスライドを見せていただき楽しい時間を過ごしました。その中で印象的だったのは民家の改修をする際、「古くてモダン」と説明して頂いた言葉が記憶に残っています。施主のお嫁さんから頂いたほめ言葉のようですが、松下さんにとって最高のほめ言葉であったであろう想像します。私もそんな設計がしてみたいと思いました。



新入会員紹介 — 源池設計室 轟 真也 —

松本市の埋橋で住宅設計を主体とした設計事務所をしております、源池設計室の轟真也です。妻が設立した事務所に私が入り7年になります。独立時は40歳になるときには「これが私の作品です。私はこういう建築家です。」といえる自信と自分自身になりたいとの思いでいましたが、実際40歳になってそういうものが出来たかどうかはいさか不明です。少なくとも一つひとつの仕事に対しいつも「代表作」であるとの思いで一軒一軒を大切にしていきたいと思うようになりました。建築家と名の付いた団体に参加するのは、敷居が高く感じ入会することを躊躇していましたが、40歳になったことをキッカケに大先輩の方々と一緒に活動させていただくことになりました。設計を志した理由ははっきりとしたものはありませんでしたが、大学の2年生頃から建築雑誌の写真

と図面を見比べてはイメージと空想(妄想?)の世界に浸っていました。その頃アルバイトしていた小さな設計事務所で住宅を作る面白さを教えてもらいました。ゆっくりとした時間の流れさえ感じさせないその事務所の空気の中で建築を勉強させていただき、所長の好みでもあったと思いますが、おおらかな北欧の建築、アスブルンドやアルトが好きになりました。その頃の思想が今の私にも大きな影響を受けております。建築の世界は終わりのない日々勉強だと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。



源池設計室
轟 真也

いよいよ“UIA2011 東京大会 第24回世界建築会議”が開催されます。

会期：2011年9月25日(日)～10月1日(土)

メイン会場=東京国際フォーラム／丸の内地区／日本橋地区

サブ会場=六本木ヒルズ／国立オリンピック記念青少年総合センターほか

主催：国際建築家連合(UIA) UIA2011 東京大会 日本組織委員会(JOB)



UIA2011東京大会への参加には、参加登録と参加登録料のお支払いが必要です。2011年8月31日までに参加登録されると、参加登録料が割安な「早期割引」が適用されます。登録されていない方は登録をお願いします。JIA長野県クラブ事務局にその旨ご連絡下さい。

詳細はWebでご覧ください

「UIA2011 東京大会 第24回世界建築会議」ホームページ <http://www.uia2011tokyo.com/ja/> にてご覧ください。長野県クラブホームページからもアクセスできます。

UIA大会は、約130の世界の国・地域から約1万人の建築関係者が集う国際的なイベントです。1948年のローランヌ大会（スイス）以来、ほぼ3年ごとに世界の各都市で開かれてきたUIA大会が、日本で開催されるのは、今回が初めてです。UIA2011東京大会（第24回世界建築会議）のメインテーマは「DESIGN 2050」。建築家をはじめ、世界の各分野の専門家が知恵と技術を結集して近未来のビジョンを描き出し、その成果を「東京宣言」として、世界に発信します。

メインテーマ

DESIGN 2050

Beyond Disasters, Through Solidarity, Towards Sustainability (災害を克服し、一丸となって、新しい未来へ)

3月11日の東日本大震災は、極めて大きな問題を日本だけでなく世界に投げかけ、気候変動や人口問題など、21世紀に入ってから世界規模で諸問題が深刻化し、これから建築や都市のあり方に大きな影響を与えることになるでしょう。では、こうした状況のもと21世紀の建築や都市はどうあるべきなのでしょうか？この問い合わせに対して、UIA2011東京大会で掲げるテーマが「DESIGN 2050」です。今大会では、こうした世界が直面するさまざまな課題を踏まえつつ、2050年にあるべき未来像を描き出し、そこに向けて持続可能な建築環境や生活の質を「デザイン」していくための道筋を探ります。

サブテーマ

環境

地球温暖化やエネルギー問題等に対処する低炭素社会の構築や、自然災害対策のような喫緊の課題をはじめとする、多様な環境問題の解決に向け、建築環境の分野における取り組みを通して、2050年をデザインします。

文化

インターネットでつながったグローバルな情報化社会における将来の経済活動、都市、交通等のあり方を想定しつつ、都市景観、歴史的遺産、文化交流、教育等の文化的側面に注目を絞り、2050年をデザインします。

生命

世界的な人口爆発の一方で、先進諸国での少子高齢化に大きく影響される人間の安全保障や生物多様性を巡って、21世紀の生命やライフスタイルといった身近な話題を中心に議論し、2050年をデザインします。

□主なUIA2011東京大会スケジュール

◆ウェルカム・ネットワーキング 9月25日(日)：六本木ヒルズ、東京シティビュー

◆基調講演：東京国際フォーラムホールA

「クリスト アーティスト（米国）」9月26日(月) 14:00～15:10

「ジグメ・ティンレー ブータン王国 首相」9月28日(水) 13:00～14:00

「榎文彦 建築家（日本）」9月28日(水) 17:00～18:00

◆特別ゲスト講演：東京国際フォーラムホールA

「クリストフ・インゲンホーフェ 建築家（ドイツ）」9月26日(月) 15:30～16:30

「SANAA妹島和世+西沢立衛 建築家（日本）」9月27日(火) 17:30～18:30

「ウラディミール・スラベタ 建築家・歴史家（チェコ共和国）」9月28日(水) 9:00～10:00

「デイヴィッド・アジャイ 建築家（英国）」9月28日(水) 10:15～11:15

公開プログラム「安藤忠雄 建築家（日本）」9月26日(月) 19:00～21:00

◆UIA関連

UIA理事会 9月25日(日)、10月1日(土)：東京国際フォーラムホールD5

UIA総会 9月29日(木)～10月1日(土)：東京国際フォーラムホールB7

表彰式「UIA各賞」9月27日(木)：東京国際フォーラムホールA

◆JIA主催シンポジウム for UIA 2011 TOKYO 「2050年の建築家」を考える

9月27日(火) 9:00～12:00：東京国際フォーラムホールC

— 災害復興からのまちづくりに建築家は…（仮称） — コーディネーター：芦原太郎氏（建築家、JIA会長）

2010年1月の第1回を皮切りに6回に亘る連続シンポジウム “「2011年の建築家」を考える”を開催してきました。

この連続シンポジウムの成果を携えて、UIA東京大会におけるメインテーマ「DESIGN 2050」に呼応する国際シンポジウム（「2050年の建築家」を考える）に結実させ、日本型の次世代に向けた建築家のあり方を捉え直し、日本型建築社会システムに向けた法制度の整備、さらに日本の状況を世界に向かって「建築家宣言」として発信することに繋げたいと考えています。

災害復興からのまちづくりに建築家は…（仮称）と題し、復興支援活動の中で、建築家はどんな役割を担うべきなのか、今後構築される復興支援の枠組はどうあるべきか、更にその枠組や活動形態に即して建築家の果たすべき責務と役割は何か、これらの観点から語って頂く中で、復興支援の枠組に留まらず、まちづくりにかかる一般事例にまで敷衍することができますれば、「2050年の日本」が見えてくるのではないか。

「2050年」を想定してそこからフィードバックすることで、『災害』を超えて、法体系・資格制度・国民の意識が噛み合った「2050年の建築家像」を考えていきます。

◆テーマセッション 9月26日(月)～27日(火) 午前・午後：東京国際フォーラムホールA

日本の若手建築家のコーディネーションのもと、日本における大震災をふまえ、グローバルな観点からサブテーマに沿った未来社会構築に向けた議論を開催します。26日に2つのテーマセッション（1：世界が直面する問題：戦争、自然災害、貧困、地球環境、2：世界が直面する新たな情報社会）、27日に「大震災を克服し、災害のない未来社会」を構想する3つ連続セッション（1. Environment、2. Culture、3. Lifeのそれぞれの観点から）を行う予定です。

◆論文・建築デザイン発表／ポスターセッション 9月26日(月)～28日(水)

午前・午後：東京国際フォーラムホールB5・ルームG502/G510/G610

◆ワークプログラム 9月26日(月)～28日(水) 午前・午後：会場=東京国際フォーラムホールD5/D7・ルームG402/409

◆UIA2011東京大会学生設計競技 表彰式 9月27日(火)

「審査委員長：隈研吾 建築家（日本）」展示発表：東京国際フォーラムホールD7

◆ユース・ジャンボリー：9月22日(金)～29日(木)：会場=国立オリンピック記念青少年総合センター等

◆ツアーや街歩き 企業展示会 シンポジウム／ワークショップ 展覧会 周辺、その他のイベント コンペ

UIA2011東京大会の開催にあわせて各種展覧会などの関連イベントが開催されます。詳しくはWebでご覧ください。

UIAとは

UIA (The International Union of Architects: 国際建築家連合) は、130万人を超える世界の建築家を代表する組織です。

国籍や人種、宗教、あるいは建築的情報にかかわらず、世界中の建築家を束ね、各国を代表する組織の連合体として、1948年6月28日にスイス・ローランヌで設立されました。当初は27カ国にすぎなかった加盟国・地域も、現在では124の国・地域（暫定加盟国を含む）へと拡大。5大陸をつなぐ建築家の職能ネットワークである非政府組織（NGO）に発展しています。

UIAに加盟する各国・地域の建築家関連団体は、5つの地域（第I地域=西ヨーロッパ、第II地域=東ヨーロッパおよび中東、第III地域=北中南アメリカ、第IV地域=アジアおよびオセアニア、第V地域=アフリカ）にグループ化されています。

UIAの主要な活動領域は、「教育」「職能実務」「設計競技」の3つです。このうち、設計競技では、「シドニー・オペラハウス」、パリの「ポンビドゥー・センター」、「東京国際フォーラム」などの成果を通して、模範的な国際設計競技のあり方を示しています。さらに、UIAでは、「サステナビリティ」「社会」「プランニング」「ハビタット」「遺産」「施設」などの多彩な専門部会を設けて、精力的に活動しています。

賛助会だより

安心して暮らせる生活空間の創造

当社は、お客様のニーズにお応えし、和と感謝、反省と責任感を忘れることなく、常に努力、実行することにより、社会に奉仕し、地域の発展に寄与し、あくまでも共存共栄を守り、顧客、会社、社員とともに末長く繁栄することを基本方針としています。事業の内容は、建物等に於ける冷暖房・空調設備、給排水衛生設備等々の

株式会社 シノダ設備 遠山 善秀

設計・施工・メンテナンスで、お客様のご要望にお応えしています。又、平成14年度から井戸ボーリング工事も始めました。災害時の緊急用水、生活・農業・工業用水として多くの皆様に活用して頂いています。総合設備工事会社として、社会に信頼され続ける企業であり続けたいと考えています。

〒395-0071 飯田市今宮町2丁目34番地 TEL 0265-23-5752 FAX 0265-52-5752

機能性と快適性の調和を図り「人が活きる空間づくり」をプロデュースします

株式会社 シマコー 椎名 英也

【内装工事業】各種公共施設や商業施設、工場、オフィスビルなど大型建築工事の内装工事や、様々な建物の用途変更に伴う内装改修工事で数々の実績を残してきました。施工に際しては機能性や耐久性はもとより快適性、安全性を追求し、建物用途に合った最適な工法や素材を選定し提供しています。長年に亘り培われた確かな施工力・管理力・提案力により低コストで高品質な仕上がりを実現します。

【リニューアル・ケムドライ事業】時代の変化に合わせて、オフィス機能の向上、工場、物流システムの効率化や利用者の快適性、利便性に配慮した病院、福祉施

設の空間創造など、改装工事に対してはプランの作成から家具、インテリア、情報関連機器、セキュリティーに至るまでトータルで空間をプロデュースします。また、少子化が問題となっている今、安心して子育てできる環境づくり「ベビー休憩室、育児関連商品」の提案、地球環境に負荷をかけない繊維専門のクリーニングシステム「ケムドライ」など、建物の耐用年数が尽きるまでその資産価値を高める提案を行います。

〒399-0033 松本市大字笛賀7600-2 TEL 0263-58-0456 FAX 0263-58-8650

ダイダン(株)長野営業所 三浦 元

ダイダンは、「光と空気と水を生かす」企業です。

常日頃から当社は電気設備・空調設備・衛生設備工事におきまして、皆様に大変お世話になっております。一昨年の「JIA長野クラブ技術交流会」におきましては、「環境」をテーマに発表をさせていただき、現在の省エネルギーの動向や、当社の技術研究所にて研究・開発した省エネの商品の説明をさせていただきました。

これからも総合設備業者としてのノウハウや、紹介させていただいた省エネ商品を駆使し、客先のニーズに対応していくたいと思っております。ぜひ、皆様も省エネ商品を設計に織り込んでいただき、採用の機会を増やせばと思っております。ぜひ、声をかけていただきますようよろしくお願いいたします。

〒380-0824 長野市南石堂町1282-11 TEL 026-228-3820 FAX 026-228-3907

防水・外壁・土木における現場施工型の化学製品を総合的に取り扱うメーカー 株式会社 ダイフレックス 新潟営業所 松井 一樹

弊社は、ウレタン防水材のトップメーカーとして建築分野や土木分野で実績を重ねてまいりましたが、平成19年2月に塗材メーカーである恒和化学工業をグループに加え、防水・外壁・土木の材料を取り扱うメーカーとなりました。

これは、年々増加する改修工事を中心に、屋上防水・外壁塗材など、トータルで責任をもって欲しいとの要望が強まっていることが背景としてあり、こうした要望に対応するため、ダイフレックスグループは新しい事業領域「コンストラクションケミカル」を目指すことになりました。「コンストラクションケミカル」とは、構造物に関わる化

学製品を総合的に取り扱う事業領域であり、化学のチカラを使って構造物の耐久性を保持し、長期間の維持保全や用途変更に対応することで、社会環境と安全性の向上に貢献する材料メーカーとして日々活動しております。

改修物件の診断や仕様提案など依頼いただければ対応させていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。

〒950-0863 新潟市東区御新町3-16-29 TEL 025-279-3061 FAX 025-249-3065

屋根下地・打ち込み・内装・床下地に間伐材使用、安全・安心の木毛セメント板

竹村工業株式会社

日頃は弊社製品をご採用戴き、誠に有り難うございます。弊社では、県内外の間伐材(檜)を利用した屋根耐火用野地板はもちろん、最近では型枠兼用木毛セメント板(不燃タイプ有り)・内装用木毛セメント板・床下地を全国にご案内し、供給致させていただいております。特に、高性能遮音二重床は、これまで解決

できなかった集合住宅、マンションの上下階の音の問題を大幅に改善することができます、和室から洋間へのリフォーム、新築マンションに自信を持ってお奨め致します。リフォームの場合、施工前の階下への音と、施工後の音を現場で測定し、実際の違いを体験頂くこともあります。

〒399-3301 下伊那郡松川町上片桐4604 本社建材事業部 TEL 0265-36-6111 FAX 0265-36-6555
屋根野地板他全般 担当:岩口・松井 遮音二重床担当:竹村(仁)・松崎・片桐

久保さんへの言葉

紙面の都合上、前号89号に掲載できなかつた方のコメントを掲載しております。

いつもながらの辛口な言葉が流れ出すと、もうどうにも止まらない。今にも聞こえてきそうな久保ちゃんのユーモア溢れる語り口で、いつまでも「大人の建築家」としての重みを持って、迷える僕らの道筋を示し続けて下さい。酒も煙草も好きなだけ嗜んでいいから。
赤羽吉人

状態であります。それ程、鮮烈で強烈な出来事でした。時間だけ過ぎていますが、なかなか自分の中でそしゃく出来ていません。程良く効いた辛口のコメントがなつかしく、聞けなくなつたさびしさだけが心残りでいます。

同世代の人間として、久保さんの繊細さと誠実さがわかつていただけに残念でなりません。早い旅立ちに“ご苦労様でした”、先に行って待って下さい、向こうで又逢いましょうの言葉をのせて、伝えたいと思います。
俳角藤 長澤和芳

久保ちゃん。あなたの訃報に接した時は、本当に驚きました。久保ちゃんの設計や社会に対する考え方、長野県クラブでの発言、人への接し方、全てが私の手本でした。同じ年ということもあり、仕事面の苦労など私の愚痴を聞いてくれ、「世の中そんなこともあるよ。」とあなたには何度も励されました。本当にありがとうございます。安らかにおやすみ下さい。
児野 登

ゴーシュという店の名前を憶えているでしょうか。何年か前、一度だけ有志を募って行った、金沢ひがし茶屋街の喫茶店の名前です。古き良き時が流れる、中々いい感じの店でしたね。今度またいかに行きたいなあと思っていたのですが、もういっしょには行けないんですね、久保さん…。

㈱新和建材 水谷健治

小生の頭と心の一部分は、1月5日の夕方白木の箱の中で眠りに着かれた久保さんの姿をみつめたまま…止まっています。今でもその部分だけそのまま

久保さんの奥様より長野県クラブ宛に手紙をいただきました。

拝啓 先日は会報をお送り頂きましてありがとうございました。たくさんの皆様のあたたかいお言葉に感謝の気持ちでいっぱいです。本人はまだずっと仕事をしていくつもりでおりましたので、途中で逝ってしまい皆様にはご迷惑をおかけてしまい申し訳なく思っております。健康な頃はあまり家にいないのが日常でしたが、本当にいなくなってしまった現在は寂しく厳しい日々です。が、多くの皆

様のおかげで充実した時間を過ごせた夫は幸福だったと思います。JIAの会員の皆様、会報にお言葉をお寄せくださった皆様には本当に感謝しています。どうぞよろしくお伝えください。お世話になりました。

敬具
久保 由美子

今後の行事予定

夏のセミナー 8月6日(土) 当日の予定 幹事会・技術交流会・出版委員会・(松本 崖の湯) UIA特別委員会 賛助会プレゼンテーション
UIA東京大会 9月25日(日)~10月1日(土)

お知らせ 事務局が平岡さんから佐藤さんに

はじめまして! 佐藤清美です。静岡県沼津市の出身で長野市にきて3年になります。久しぶりに新社会人のような緊張感と新しいことが始まった楽しさを感じています。皆様にはご迷惑をおかけしますが、どうぞご指導下さい様よろしくお願ひいたします。

編集後記

震災から4か月が過ぎました。いまだ原発は収束するめどが立たず、仮設住宅での孤独死が報じられています。9月に開かれるUIA東京大会ではDESIGN 2050・Beyond Disasters, Through Solidarity, Towards Sustainability(災害を克服し、一丸となって、新しい未来へ)をメインテーマとして、日本における大震災をふまえ、グローバルな観点からサブテーマに沿った未来社会構築に向けた議論するプログラムが用意されています。是非、UIA東京大会に参加し、あらためて建築家としての役割を再認識し、グローバルな視点を持ちながら、個別的・地域的な様々な問題の解決に取り組んで行きたいと思います。
勝山 敏雄

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集人／勝山敏雄 発行所／JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 TEL: 026-232-3897 FAX: 026-232-5303
発行人／赤羽吉人 URL <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/> E-mail jia-naga@jeans.ocn.ne.jp